

情報化社会のコミュニケーション

現代社会学科 高橋真

1

自己紹介

- 氏名 高橋真
- 所属 大谷大学社会学部現代社会学科
- 専門 比較認知科学（動物心理学）

2

研究のための手順

1. 問を立てる
2. 仮説を立てる
3. 調査の方法を決定する
4. 調査する
5. まとめる

3

問：情報化社会で コミュニケーションは変わるか？

1. 仮説を立てる
 - ネットワーク上では何かが異なる？
 - 何が？
2. 関連する情報を集めてみる
 - 人間のコミュニケーションの特徴
 - SNS（情報技術）の特徴

4

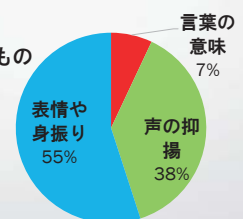
人間のコミュニケーションの機能

- 情報をやり取りする
- 集団の関係の維持
 - 会話
 - アイコンタクト
 - 場所の共有

5

人間の情報のやり取り

- 言葉によるもの
 - 場所、知識などの物理的なもの
- 言葉ではないもの
 - 友好
 - 社会的な地位
 - 感情



6

普段のコミュニケーション

- 同じ時間を共有
- 同じ空間を共有
- 同じ前提を共有
 - 話題
 - 文化
 - 社会的背景

7

インターネットでのコミュニケーション

- SNS
 - LINE
 - Twitter
 - Instagramなど
- 電子メール
- チャット（音声、ビデオ）

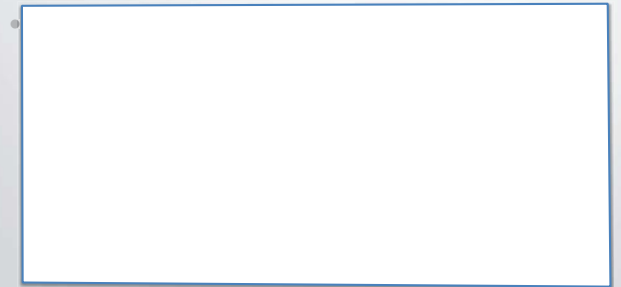
8

ネットコミュニケーションの特徴

- 文字情報が主体
 - メール・Line・Twitter→基本的に文字
- 時空間の一部が切り取られる
 - Instagramなどの写真→空間と時間の一部
 - ビデオチャット→空間の一部

9

仮の結論



10

対処法を考えてみましょう

1. 複数のチャンネルを利用する

2. 前提を変えて考える

11

大学での学びの目標

- 1つのテーマの答えを自分で見つける
 - テーマを考える
 - 知識を蓄える
 - 知識を結びつける
 - 多様な方法を吟味する

考える方法を身につける！！

12